



I 第 16 週の発生動向 (2025/4/14~2025/4/20)

1. 水痘については、東津軽+青森市保健所管内で**警報**が継続しています。
2. 伝染性紅斑については、東津軽+青森市保健所及び上北保健所を除く**4 保健所管内**で**警報**が継続しています。
3. 百日咳については、第 2 週以降、複数の保健所管内からの報告が続いており、特に、三戸+八戸市保健所管内の報告数が多い状況が続いています。手洗い等の基本的な感染対策の徹底をお願いします。

※現在、国及び国立健康危機管理研究機構が警報・注意報の基準値について確認を進めているところですが、県の週報に記載する発生動向では、当面の間、従前の基準値を用いて注意喚起を行います。

II 第 16 週五類定点把握対象疾患

※記載データは、速報値です。

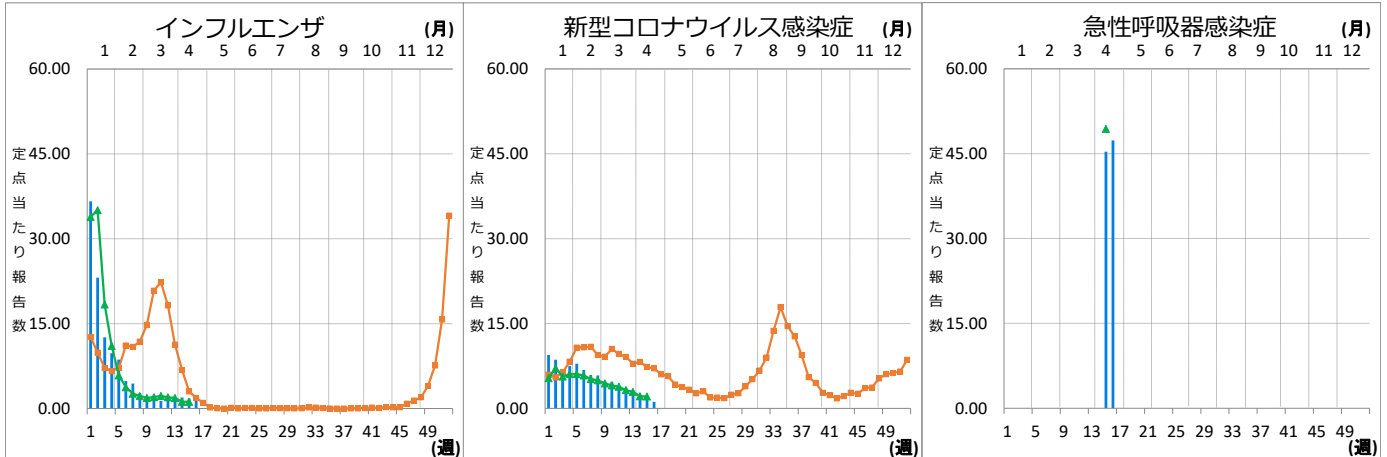
青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

は警報、は注意報。「空欄」：患者報告無し。

		東青 (東津軽+ 青森市保健所)		中南 (中南保健所)		三八 (三戸+ 八戸市保健所)		西北 (西北保健所)		上北 (上北保健所)		下北 (下北保健所)		青森県計		前週 からの 増減
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
急性 呼吸器 感染症	インフルエンザ	25	2.27	23	2.30	19	1.90	7	1.17	7	0.78			81	1.56	-9
	新型コロナウイルス感染症	11	1.00	9	0.90	8	0.80	21	3.50	7	0.78	5	0.83	61	1.17	-52
	急性呼吸器感染症	871	79.18	317	31.70	416	46.22	230	38.33	375	41.67	205	34.17	2414	47.33	101
小児科	RSウイルス感染症	2	0.33	5	0.83	4	0.57	3	0.60					14	0.41	-13
	咽頭結膜熱	2	0.33	1	0.17	6	0.86	3	0.60	1	0.17			13	0.38	0
	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	6	1.00	9	1.50	11	1.57	7	1.40	1	0.17	8	2.00	42	1.24	7
	感染性胃腸炎	43	7.17	24	4.00	32	4.57	53	10.60	17	2.83	2	0.50	171	5.03	-16
	水痘	10	1.67			1	0.14					1	0.25	12	0.35	-18
	手足口病			3	0.50					2	0.33			5	0.15	-1
	伝染性紅斑	4	0.67	12	2.00	14	2.00	9	1.80	4	0.67	6	1.50	49	1.44	-12
	突発性発しん	1	0.17	2	0.33	5	0.71			1	0.17			9	0.26	1
	ヘルパンギーナ															0
	流行性耳下腺炎											1	0.25	1	0.03	1
眼科	急性出血性結膜炎															0
	流行性角結膜炎															0
基幹	感染性胃腸炎(ロウイルス)															0
	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															0
	マイコプラズマ肺炎							1	1.00			4	4.00	5	0.83	0
	無菌性髄膜炎															0

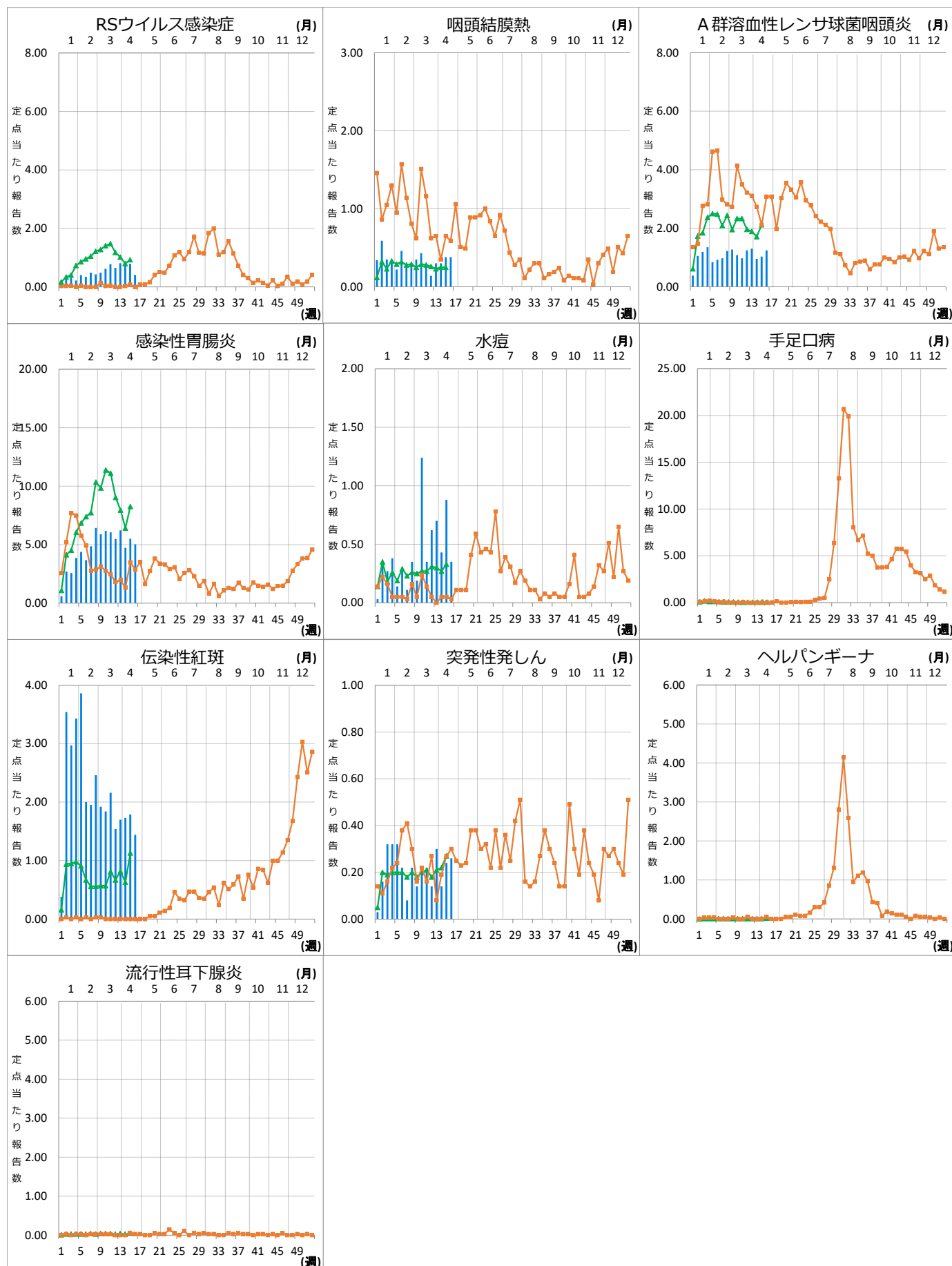
III 定点把握対象疾患週別推移 (急性呼吸器感染症定点) (2025 年第 16 週、ただし全国は前週)

グラフの説明 — は 2025 年青森県、■ — ■ は 2024 年青森県、▲ — ▲ は 2025 年全国



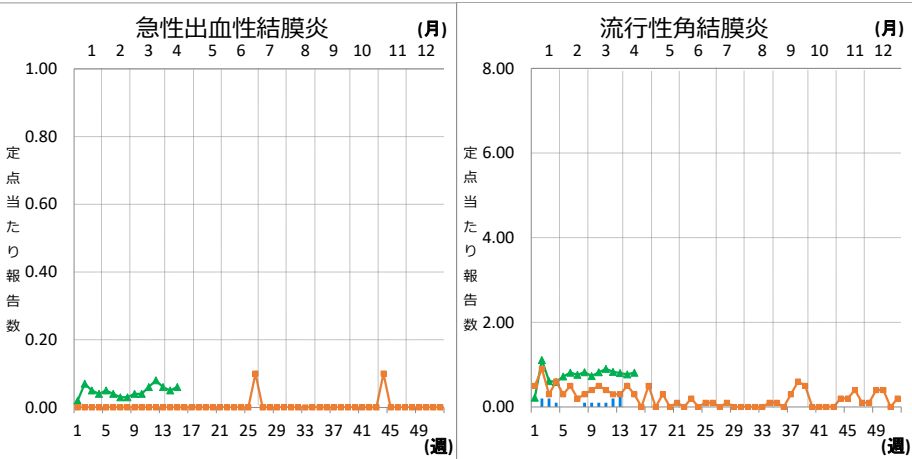
Ⅳ 定点把握対象疾患週別推移（小児科定点）（2025 年第 16 週、ただし全国は前週）

グラフの説明  は 2025 年青森県、 は 2024 年青森県、 は 2025 年全国



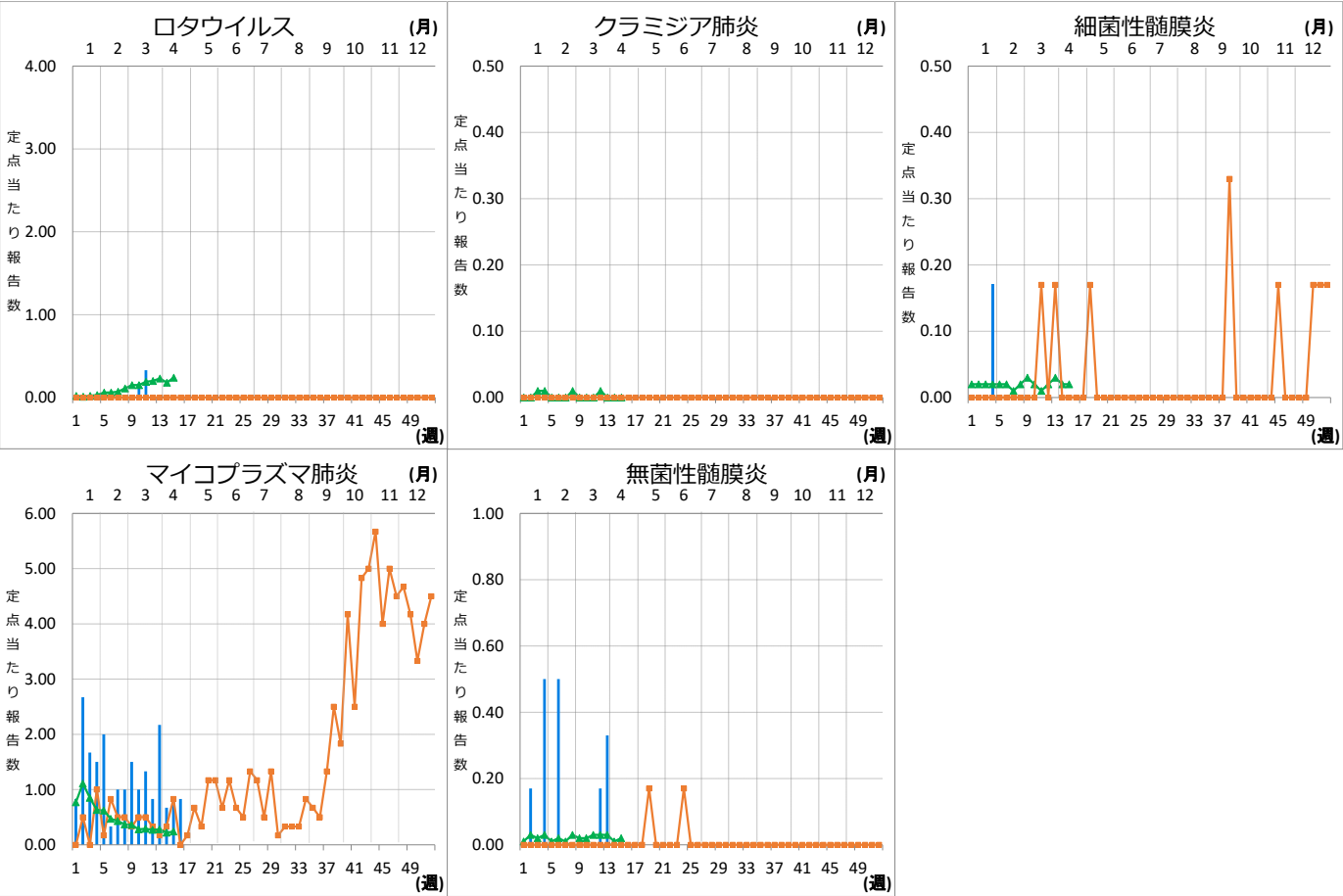
V 定点把握対象疾患週別推移（眼科定点）（2025 年第 16 週、ただし全国は前週）

グラフの説明👉**——は 2025 年青森県、■——■は 2024 年青森県、▲——▲は 2025 年全国**



VI 定点把握対象疾患週別推移（基幹定点）（2025 年第 16 週、ただし全国は前週）

グラフの説明👉**——は 2025 年青森県、■——■は 2024 年青森県、▲——▲は 2025 年全国**

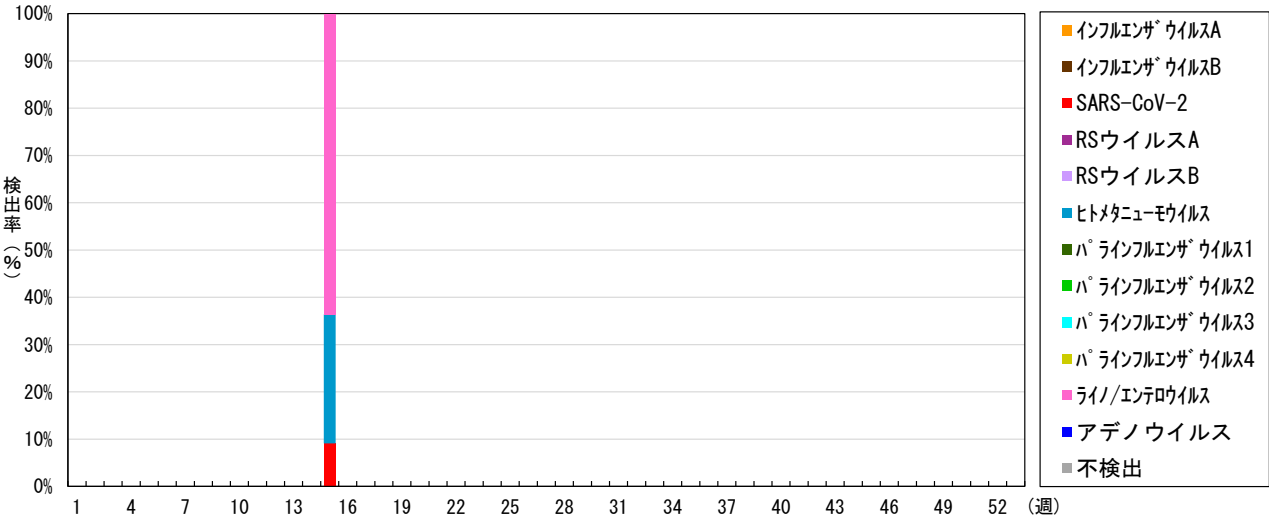


Ⅶ 急性呼吸器感染症 (ARI) 病原体検出情報

(1) 急性呼吸器感染症病原体定点からの提出検体数 (第 15 週～)

急性呼吸器感染症	2025年							
	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週
提出検体数	11	12						

(2) 検出された病原体の週別推移



Ⅷ 全数把握対象疾患発生状況 (第 16 週)

- ・ 結核(二類感染症) : 青森市 1 人、中南 1 人、上北 1 人 (2025 年計: 32 人)
- ・ 腸管出血性大腸菌感染症 : 中南 1 人 (2025 年計: 5 人)
- ・ 百日咳(五類感染症) : 青森市 2 人、中南 10 人、八戸市 20 人、西北 1 人、下北 1 人 (2025 年計: 168 人)

Ⅸ 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況 (2025 年第 13 週～2025 年第 16 週)

週	東青 (東津軽保健所+ 青森市保健所)	中南 (中南保健所)	三八 (三戸保健所+ 八戸市保健所)	西北 (西北保健所)	上北 (上北保健所)	下北 (下北保健所)
13			百日咳13人	梅毒1人 百日咳1人	結核1人	
14	百日咳2人		百日咳12人	百日咳4人	結核1人 侵袭性肺炎球菌感 染症1人	百日咳2人
15	百日咳1人 梅毒1人	結核1人	百日咳20人	結核1人		百日咳1人
16	結核1人 百日咳2人	結核1人 腸管出血性大腸菌 感染症1人 百日咳10人	百日咳20人	百日咳1人	結核1人	百日咳1人

第 15 週に青森市保健所管内で梅毒の届出が 1 件ありましたので、追加しました。

X 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2025 年第 1 週～第 15 週までの累計）										
分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	エムボックス
累積報告数	3623	3	12	350	7	2	148	42	5	1
分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	オウム病	回帰熱	コクシジオイデス症	重症熱性血小板減少症候群	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ボツリヌス症	マラリア
累積報告数	3	2	1	4	4	35	45	3	1	6
分類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	急性弛緩性麻痺	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症
累積報告数	469	1	133	61	508	8	203	6	44	482
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症
累積報告数	215	7	229	22	1412	146	3705	42	23	28
分類	五類	五類	五類	五類						
疾病名	百日咳	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症						
累積報告数	7084	5	78	4						

青森県（2025 年第 1 週～第 16 週までの累計）

分類	二類	三類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	つつが虫病	レジオネラ症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	急性脳炎	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症
累積報告数	32	5	1	3	5	1	1	3	1	2
分類	五類	五類	五類							
疾病名	侵襲性肺炎球菌感染症	梅毒	百日咳							
累積報告数	8	6	168							

XI 病原体検出情報 ※（ ）内は、検査材料及び検体採取日報告はありませんでした。

Ⅻ 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

2025 年第 16 週
報告はありませんでした。

2025 年報告件数及び発症者数

月(週)		1月	2月	3月	4月			5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計 (施設別)
施設種別		1-5週	6-9週	10-13週	14週	15週	16週	17週	18-22週	23-26週	27-31週	32-35週	36-39週	40-44週	45-48週	49-52週
介護・老人福祉関係施設	件数	1	4	4	1	0	0									10
	発症者数	7	70	69	28	0	0									174
児童・婦人関係施設等	件数	4	10	8	2	2	0									26
	発症者数	74	228	136	31	52	0									521
障がい関係施設	件数	0	2	2	0	1	0									5
	発症者数	0	37	25	0	10	0									72
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0									0
	発症者数	0	0	0	0	0	0									0
計(月別)	件数	5	16	14	6											41
	発症者数	81	335	230	121											767

感染症の窓

ゴールデンウィークを控え、海外旅行を計画されている方もいるかと思いますが、海外では、日本国内であまり注意を払われていないものが感染源となり、思いがけず感染症に罹患することがあります。海外に渡航する際は下記の点に注意し、事前に予防接種の検討や検疫所のホームページからの情報収集をお願いします。

(1) 食べ物や水

A型肝炎やコレラなどの感染症は、病原体に汚染された水や食品を摂取することで感染します。手洗いをこまめに行い、生水・氷・カットフルーツの入ったものを食べることは避け、食事は十分に火の通ったものを食べるようにしましょう。

(2) 蚊やダニ

マラリアやデング熱などの感染症は、病原体を保有する蚊やダニに刺されることによって感染します。長袖・長ズボンを着用し肌を出さないようにするとともに、虫よけスプレーを使い、蚊やダニに刺されないようにしましょう。

(3) 動物

狂犬病や鳥インフルエンザなどの感染症は、犬や鳥などの動物との接触によって感染しますので、むやみに近寄ったり、触らないようにしましょう。

(4) 人

咳や発熱、発疹など、何らかの症状がある方との濃厚な接触は避けるようにしましょう。



○詳しい情報はこちらをご覧ください。👉[海外へ渡航される皆様へ！\(厚生労働省検疫所 HP\)](#)

海外渡航における感染症対策

表 海外で注意すべき感染症及びその感染源
(厚生労働省検疫所HPの内容を一部加工して掲載)

主な感染源	注意すべき感染症
食べ物・水	E型肝炎
	A型肝炎
	赤痢
	腸チフス
	コレラ
蚊	マラリア
	デング熱
	チクングニア熱
	ジカウイルス感染症
	黄熱
	ウエストナイル熱
ノミ	日本脳炎
	ペスト
動物	狂犬病
	鳥インフルエンザ
	MERS (中東呼吸器症候群)
人	麻疹
	風しん
	ポリオ
	エムボックス
	新型コロナウイルス感染症